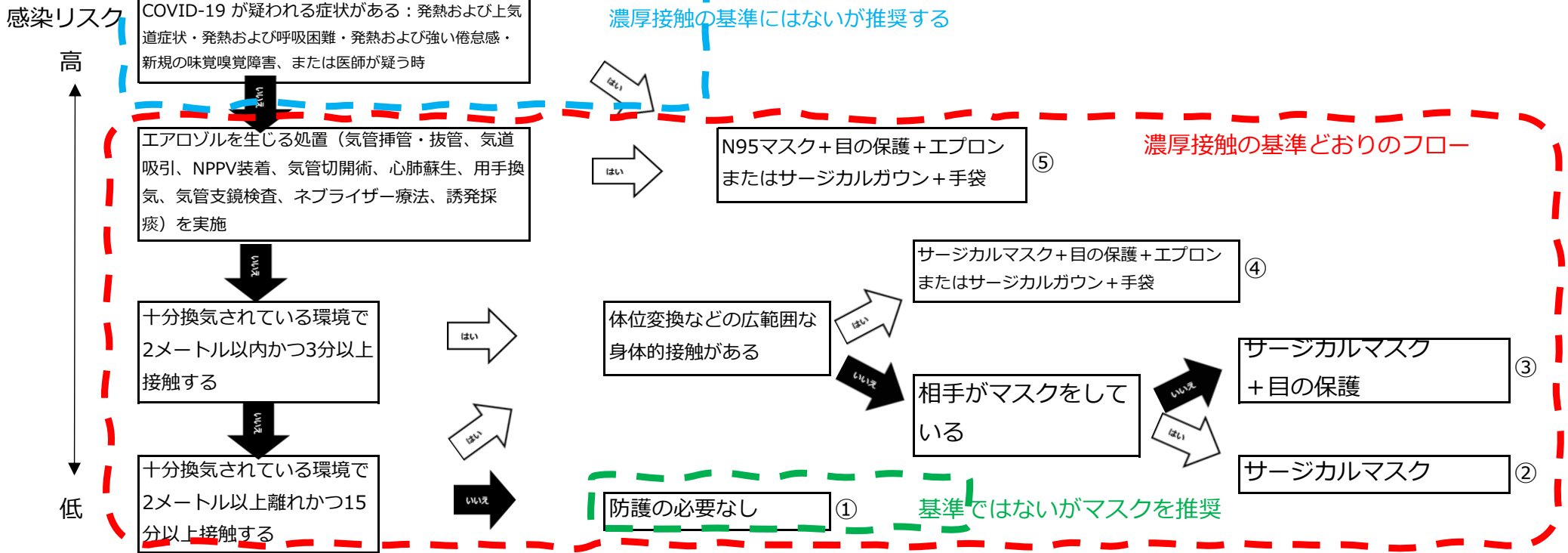


COVID-19対策のための個人防護具の選択

2020/11/7 ver4.0



- ・前腕まで汚染されるリスクがあるときには、袖のある使い捨てのガウンが必要である。
- ・長袖のガウンを利用する場面とは、エアロゾルが発生するような手技、上気道や気道検体の採取、体位変換や車いす移乗など、前腕や上腕が療養者に触れるケアを行うときなどである。長袖ガウンが不足している時は袖のないエプロンも可能ではあるが、その場合、腕も消毒または手洗する。

参考) 日本環境感染学会「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド第3版」p13
http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/COVID-19_taioguide3.pdf
 日本在宅医療連合学会「在宅医療における新型コロナウイルス感染症対応Q&A(改定第2版)」
https://www.jahcm.org/assets/images/pdf/20200624_covid19_01.pdf

目の保護とはゴーグル、アイシールドまたはフェイスシールドのこと

	手袋	エプロン	ガウン	サージカルマスク	N95	ゴーグル
続けて使う	不可	明らかな汚染があれば交換	レッドゾーンでは可	可能であるがエアロゾル発生手技後は交換		
再利用		不可			可能	洗浄して再利用

枚のN95 マスクを配布し、5日間のサイクルで毎日取り替える再利用法も米国CDCより提案されています。

静明館診療所 大友宣 sen-o@nifty.com

個人防護具の着用: 手指衛生→ガウンまたはエプロン→マスク→ゴーグルまたはフェイスシールド→手袋
個人防護具の脱衣: 手袋→手指衛生→ゴーグルまたはフェイスシールド→手指衛生→ガウンまたはエプロン→手指衛生→マスク→手指衛生

表 1 医療従事者の曝露のリスク評価と対応

新型コロナウイルス感染症患者と接触したときの状況（注1）		曝露のリスク	健康観察（曝露後14日目まで）	無症状の医療従事者に対する就業制限
マスクを着用している新型コロナウイルス感染症患者と感染性期間中に長時間(注2)の濃厚接触あり				
医療従事者のPPE	PPEの着用なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクの着用なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用しているが眼の防護なし	低リスク	自己	なし
	サージカルマスクは着用、眼の防護もしているがガウンまたは手袋の着用なし	低リスク	自己	なし (体位変換などの広範囲の身体的接触があった場合は14日間)
	推奨されているPPEをすべて着用	低リスク	自己	なし
マスクを着用していない新型コロナウイルス感染症患者と感染性期間中に長時間(注2)の濃厚接触あり				
医療従事者のPPE	着用なし（注2）	高リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクの着用なし（注2）	高リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用しているが眼の防護なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用、眼の防護もしているがガウンまたは手袋の着用なし	低リスク	自己	なし (体位変換やリハビリなどの広範囲の身体的接触があった場合は中リスクとして14日間)
	推奨されているPPEをすべて着用	低リスク	自己	なし (注3に該当する場合は中リスクとして14日)

Interim U.S. Guidance for Risk Assessment and Public Health Management of Healthcare Personnel with Potential Exposure in a Healthcare Setting to Patients with 2019 Novel Coronavirus (2019-nCoV)2020年4月15日版をもとに作成し改変

注1 記載されているPPE以外のPPEは着用していたと考えます。例えば「眼の防護なし」とある場合は、それ以外の推奨されるPPE(マスク、手袋、ガウン)は着用していたと考えます。

注2 接触時間の目安について、旧ガイドでは3分以上を一定時間としていましたが、海外の各専門機関の指針等を踏まえて全般的に“15分以上”を長時間の基準に変更しました。ただし、患者と医療従事者が共にマスクを着用せず、外来診察など近い距離で対応した場合は、3分以上でも感染リスクが発生する可能性もあります。そのため、時間だけで明確にリスクのあるなしを決定せず、その際の状況も踏まえて判断する必要があります。

注3 サージカルマスクを着用した医療従事者が大量のエアロゾルを生じる処置を実施した場合や、これらの処置を実施中の病室内に滞在した場合は中リスクと判断します。ただし、N95マスクを着用していた場合は低リスクと判断します。